

大丈夫？

職員の給与・手当の支給にも苦慮する市立病院

2013年度、約10億円の赤字決算となった病院事業会計は、運転資金が確保できないとして、一時借入金の限度額を10億円から25億円に引き上げる議案が出されました。

これまで借入の実績はほとんどなかったものが、本年3月に給与と支給のため3億円、6月に期末勤勉手当支給のため5億円を借り入れました。

赤字の理由は、病床利用率が低迷し、目標とする医業収益があげられなかったため。青葉病院で夜間対応の看護師を確保できず、病棟を一部休床した影響が6億円。海浜病院は、青葉病院への整形外科集約による5億円減を、内科外科の入院患者増で埋めようとしたものが、内科医師を増員できず達成できなかった、とのこと。

運転資金のための一時借り入れは致し方ないとはいえ、返済のメドが立たないようでは困ります。医師不足・看護師不足解消が急務です。

「えっ！北谷津にまた建つの？」

市民への丁寧な説明が必要な清掃工場建て替え計画

千葉市は3つの清掃工場のうち老朽化した北谷津清掃工場を廃止し2つにしようと、ゴミ削減に力を入れてきました。ただし、2つに減らしてもいずれ老朽化することから、いつどこに建て替えるかを計画しておかなければなりません。

議案は一般廃棄物処理施設基本計画作成のための補正予算案でしたが、市は平成38年操業を目的に北谷津清掃工場跡地に新しい清掃工場の建設を考えていることが明らかになりました。

いずれ避けて通れない工場の建て替えですが、北谷津にはもう建たないと思いこんでいた市民も少なくないと思います。

地元自治会は受け入れ賛成と聞いていますが、その他の市民も含め、今後充分で丁寧な説明を行うことが必要です。



一般質問から 山田 京子

不登校のこどもに安心できる居場所を！

教育委員会の不登校児童生徒への対応の基本目標は学校復帰にあります。復帰に至るのは3割から4割とのこと。学校復帰とならずに、次のステップに進む子どもも半分以上いるわけです。

文科省の通知には、不登校の解決の目標は児童生徒の「将来的な社会的自立に向けて支援すること」とあり、学校復帰を目標とはしていません。復帰を目標にすると、本人も親も追い詰められてしまいます。本人の力が回復することを「待つ・支える」居場所作りに力を入れてほしいものです。

川崎市では、子ども夢パークというプレーパークの一角で、NPOが毎日、不登校の子どもの居場所を運営し、子どもたちが元気を回復しています。

目標を学校復帰に固執せず、今ある千葉市の子ども関連施設での支援も充実させ、親の会や民間団体等と連携しながら安心して過ごせる居場所を作って欲しいと要望しました。

決算審査こぼれ話



◆総務分科会

決算審査が5分科会形式となって今議会で2回目。財政局関連事項は全議員が傍聴できるようにと単独開催となっているが、傍聴議員の数は少なく、ことに午後の傍聴はゼロ。何のための財政局単独開催なのか！

職員給与削減など削りに削っての財政健全化。そんな中、市庁舎建設の時期を問題視する声も。

◆保健消防分科会

超高齢社会に突入した現状を反映し、介護支援ボランティア、認知症対策、生きがい対策等、高齢福祉の質疑が多かった。認知症については認知症疾患医療センターの利用者数など増加しており、一層の対策が求められる。また国民健康保険事業については、経営改善のアクションプランの進捗やジェネリックの活用等についての意見が出された。

◆環境経済分科会

集客観光課への質問が複数あり、千葉市の魅力を発信し、訪問者や居住者を増やすことについて関心のある議員が多かった。

また、26年4月から中央卸売市場が地方卸売市場になったが、活性化への具体案が議員から示されるなど、分科会は傍聴する市民にとっても、議員の個性が感じられる貴重な機会。

◆教育未来分科会

新規や拡充された学校教育の施策（スクールソーシャルワーカー、日本語指導、学力向上や理科のサポートなど）への質問が集中した。質問時間の制限もあり、有意義な質疑をするのは議員にとってもかなり大変な作業、だが施策について深く斬り込むことのできる場だ。

◆都市建設分科会

今後更新が必要なモノレールの車両は28両。1両2億9千万円もかかるため会社の営業努力が不可欠。昨年度はアニメ「俺の妹…」のラッピング車両が大あたりで増収。大雪でも止まらずバスに替わって大活躍で増収。ただし若葉区の高齢化状況を見れば、今後の利用者減は必至。まちづくりを市民と一緒に考える必要がある。

ほんのちよつと前進
議会改革

議会運営委員会の市民傍聴 可能に！

議会運営を取り仕切る議会運営委員会。意見書の協議なども行われ、各会派の考え方の違いがよく見える場で、ほとんどの政令市が市民の傍聴を認めています。

千葉市でも、これまで反対していた自民党がようやく賛成にまわり、12月議会から市民の傍聴が可能となります。是非一度おいでください。